



# 4-Mail

4-Met Center Newsletter

Meta-technology Center for  
Metropolitan  
Metamorphosis  
Methods

東京都立大学 4-Met センター  
<http://www.4-met.org/>

Vol.001 Date:041001

広報担当者： 吉川 徹 助教授  
倉斗 綾子 研究員  
森田 真司 研究員 (RA)

## ごあいさつ

この度、東京都立大学 4-Met センターでは、毎月 1 度（第 2 木曜）、開催されております COE 運営会議の内容を中心に、都立大建築 COE に関する様々な情報をプロジェクト担当の皆様はもとより、広く学内外にご提供していくことになりました。

南大沢駅前の 4-Met センターを拠点として、どのような活動が行われているのか、また各プロジェクトの進捗状況、企画イベントなど、皆様に少しでも知っていただければ幸いです。

## COE 運営会議（9月9日開催）

### （1）プロジェクト進捗状況報告

A プロジェクト（報告担当者：阿部研究員）

A111: 団地型集合住宅のトータルリモデル [深尾教授]

- ① 団地再生計画をテーマとした学会設計競技で院生（和久君、小川君ら）が最優秀に選ばれた。
- ② 8/6 東京都住宅供給公社の武蔵小金井と町田の団地を見学。A11 が提案する団地更新プロジェクトの対象団地を選定。
- ③ 集合住宅ストック活用勉強会を 8/19 に開き、みかんぐみの曾我部氏が講演。（株）市浦都市開発建築コンサルタントや東京都住宅供給公社の方々も参加。
- ④ 東京都住宅供給公社から図面をもらい、具体的な設計を始めている。

A112: 集合住宅ストック把握・大規模改修事例集作成 [門脇助手]  
本のサイズ、ページ数、おおまかな内容、分担は決定。どんどん執筆を進める予定。

A113: 公共集合住宅戸別改善リモデル実施実験 [門脇助手]  
車返団地の施工調査中。

A12: 持続的高齢者居住からみた多摩ニュータウン集合住宅の再整備要件に関する研究 [上野教授]

多摩市（落合・豊ヶ丘・永山・諏訪・愛宕・貝取）に在住する 65 歳以上の高齢者を対象に、無作為に 2500 人を抽出し、「住まいと生活に関する調査」アンケートを実施した。1000 通を超える回答があった。現在・結果を入力中。ヒアリングを承諾して下さった方が約 180 名。10 月にヒアリング実施予定。（20 から 30 人程度）

A13: 公的賃貸住宅の建替え等に関する概況 [松本助手]

都営、公団、東京都住宅供給公社、神奈川県住宅供給公社に対して、建替え状況についてのヒアリングを実施した。現在、取り纏め中。

A14: 団地型集合住宅の構造性能評価 [中村助手]

計 6 体の RC 柱の実験が終了し、得られたデータの整理・分析を行なっている。現在のところ直交壁付き柱試験体と直交壁が付かない柱試験体の実験結果を比較し、直交壁が柱の構造性能に及ぼす影響を検討している。

A21: 建物改修時の耐震補強技術に関する調査・研究 [北山助教授]  
都市再生機構発足に伴い、共同研究の方針の決定を模索中。

近々に決定される予定。

A31: 団地更新の合意形成と計画手法 [松本助手]

建替え計画中の A 団地の建替えプロセスの参与観察を実施中。

A41: ベトナム・ハノイの近代集合住宅リモデル

8/1-6 西田助手、藤江研究員、院生（ハー君、他）とベトナムで打合せおよび調査。ハノイ建築大学副学長と研究協力の合意書と調査表を作成。ハノイ建築大学が資料収集をすることになっており、その調査費用を現在見積中。調査依頼のための予算が確保できるともっと進められるのだが、12 月の中間とりまとめに向けて着々と準備中。

B プロジェクト（報告担当者：首藤研究員）

B11: 神田地区における建築と街の賦活 [饗庭助手]

修士課程 2 年宮本君を中心に GIS データを作成。建築確認申請概要書及び住民基本台帳の入力作業を継続。その他、学部 4 年生は土地の区画と利用に関する調査を行っている。

B21: コンバージョン建築の総合的検討とケーススタディ [小林教授]

神田の建築コンバージョン事例は休止。S 建設と共同のプロジェクトを準備中。今後は具体的な設計・建設に結びつく物件のスタディを継続。

建築学会大会においてイタリアのコンバージョン建築に関する研究を発表。現在の具体的な作業内容としては、以下の 2 点。設計:「1970 年竣工の高級集合住宅からハイグレードインターナショナルハウスへの建築コンバージョンの検討」

研究:「建築コンバージョンによる SOHO、ブースオフィス、カウンターオフィスなどの事例調査研究」

「イタリアの事例調査研究のまとめ及び、それに続けた建築コンバージョン事例調査研究の準備」

B23: 既存の基礎の再利用化に関する研究 [岸田助手]

実験計画案作成中。

B24: 資産価値の評価手法 [角田助教授]

千代田区神田地域を対象地域に調査を進行中。

C プロジェクト（報告担当者：倉斗研究員）

C1: 多摩市公共施設研究 [吉川助教授・角田助教授・竹宮助教授]

それぞれのチームで図面収集、ヒアリング調査依頼などを各施設や多摩市担当部署に対して継続している。また、施設情報を GIS 上のデータとして入力中。

C21: 公立学校施設再生 [上野教授・角田助教授・北山助教授]

・横浜市 M 区内の 3 つの小学校統廃合: 8 月初旬に区内のコミュニティハウス、地区センター、地域ケアプラザなど視察、また該当している 3 つの小学校の現地調査を行った。9 月 8 日、M 区に視察調査の報告とコンバージョンする施設内容の要件などをまとめて提出。10 月半ばまでに施設内容のボリュームスタディーなどを具体的に勤める予定。

・コンバージョン工事に関する研究チーム: 11 月に現場工事調査を行なう予定。9 月末から横浜市との調整に入るため、今は準備として他の解体現場調査を視察見学中。

C25：耐震改修時における構造耐震指数  $I_s$  値に関する規定の緩和  
[芳村教授・中村助手]

既存鉄筋コンクリート造建物の構造耐震指標 ( $I_s$  値) に関して、その値がどのくらいであれば大地震に対しても建物が倒壊しないかについて検討している。

地震応答解析を行なうにあたって、新たに過去のいくつかの実験結果を参考に予定であるが、その整理・分析を行い、解析の準備を進めている。

#### D プロジェクト (報告担当者：三田村研究員)

D11：自然利用住宅 [須永助教授]

「D 112 放射冷房の体感：都立大の実験建物」では、D 113 放射冷却事例調査と関連して、屋根流水放射冷房システムで天井放射冷房の体感できる見学会を実施した。

日時：8/20 (金) 15 時 -17 時、場所：都立大屋外実験フィールド (広場 B)。屋根流水冷却システムの実験棟と床面流水冷却実験棟の 2 棟の見学、並びにこの実験によって得られた成果の報告会を開催。

日時：8/20 (金) 13 時 30 分 -15 時、場所：アオキ住宅機材販売 (株) ショールーム。「D 113 放射冷却事例調査」では、八王子の面積約 100  $m^2$  の輻射暖房システムに設置される放射冷却システムの実用と、それにあわせてシステム性能評価に関する実測を継続中。このプロジェクトは室全体を均質に冷却できる天井配管型冷房装置のシステム開発、意匠検討及びシステムデータ収集を目的としている。藤江研究員設計のショールーム天井には、配管及び結露水受けが設置され、その冷房システムを体感できる会を開催し、また同日このショールームの見学会も行われた。

D21：戸建て住宅の熱性能評価 [永田助教授]

E51 との連携も考慮に入れて、熱流計の購入、測定ソフトウェアの貸借など検討中。

D31：ガラス建築環境の最適化 [石野教授]

「D 311 エコスクールへの変換」は、港区六本木中学校の屋上緑化の効果に関する研究であり、実測調査を冬まで調査継続。「D 312 自然換気と空調のハイブリッド化」では、大阪府堺市の事務所ビルで、自然通風利用による環境調査の春および夏のデータを収集し、10 月末と冬にも同様の実測調査を行う予定。

#### E プロジェクト (報告担当者：三田村研究員)

E51：木造戸建て住宅活用手法・設計 [小泉助教授]

平成 15 年度から進めている「D 51 横浜市内の木造庫裏の断熱改修および構造補強計画」では、薬王寺庫裏の実施設計が進展し見積りが上がり 9 月着工予定。

また、藤田研究室とともに行ったこのプロジェクトに用いる面材実験と、永田研究室とともに行ったこのプロジェクトの断熱改修の実測調査の報告会が 8 月 12 日 (木) に 4-Met で開催された。これらの実験並びに調査は今年度も継続予定。ただし、試作費、実験器具不足のため実験内容検討中であり、永田先生 D 21 との連携の可能性も模索。平成 15 年度から進められていた M 邸検討は休止。

E 61：伝統的木造民家の更新活用スタディ [小林教授]

COE プロジェクトとして可能性を模索中。ペンディング。

#### (2) 国際ワークショップに関して (11 月 1 日開催予定)

WG の阿部研究員、首藤研究員より現状と検討課題の報告。  
現状報告

① 招聘講演者決定 (計 11 名)

② チラシ、ポスター、建築関係雑誌各紙への催事広告掲載もほぼ決定。(日経アーキテクチュア 10/18 号、建築知識 10/20 号、新建築、建築文化、建築雑誌は申請中。)

③ プロシーディングの提出状況報告 など

#### 検討事項

① 歓迎イベントに関する提案：学内で学生も参加できるアットホームな歓迎パーティーをしてみようか など

その他、WG のお二人を中心に意見交換を行い、詳細を WG 内で詰めていく方向。

#### (3) お知らせ

戦略室から支援員へ

① 来年度分より支援員も研究者番号を配布。科学研究費などの応募資格を取得。若手研究者奨励研究費など積極的に応募を。

② 国際学会 SB05 の概要提出期限が 9 月 30 日に延期された。

③ 広報活動の一環として、Web ページの充実と共に会議の内容を中心としたニュースレターを作成する。

④ 大学院生の研究の場として、またプロジェクトの打合せスペースとして、もっと 4-Met センターを活用できないか。

支援員から戦略室へ

① COE スタッフの梅田さん用に大学メールアドレス取得依頼

② 神田研究拠点「Co-Met 神田館」企画イベント：『リ・ストーリー 神田』(9/17-26) の案内。

#### 4-Met センターからのお知らせ (プロジェクト担当の皆様へ)

##### (1) ニュースレター (月刊) 配布開始

プロジェクト担当の皆様はもとより、学内外に広く 4-Met センターでの我々の活動を知っていただこうと、今月よりニュースレター「4-M ail」を作成することになりました。活動報告を中心に、見学会やイベントの案内も掲載していく予定です。掲載したい内容などがございましたら、広報担当者(倉斗 rkurakaz@ecomp.metro-u.ac.jp)までご連絡下さい。

なお、このニュースレターはプロジェクト担当の先生方には紙面で、またその他の方々には 4-Met センターの Web ページを通して pdf でご覧いただけるようにしていく予定です。

##### (2) Web ページの定期更新

ただいまご覧いただける 4-Met センター Web ページ (<http://www.4-met.org/>) も、更に充実を図り、現在企画中です。掲載してほしい情報などがございましたら、広報担当(森田 morita@ecomp.metro-u.ac.jp)までメールでご連絡下さい。週 1 回程度の頻度で更新していく予定です。また、各プロジェクトの成果報告やメンバーの情報交換にご利用いただける『プロジェクトページ』もただいま作成中です。ID、パスワードの割振り等が終わり次第、ご利用いただけるようご連絡いたします。

##### (3) 4-Met センターオフィス写真撮影

8 月 23 日、コクヨ株式会社からの依頼により、カタログ、パンフレット用の写真撮影が行われました。家具やオフィスレイアウトを見せるための写真撮影でしたが、何故か我々 4-Met センタースタッフも心持ち緊張気味でした。撮影した写真は 4-Met センターに保管してあります。